

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信 / 海外 / 債券

〈円コース〉 / 〈米ドルコース〉 / 〈ユーロコース〉 / 〈豪ドルコース〉 /
〈ブラジルリアルコース〉 / 〈南アフリカランドコース〉 / 〈トルコリラコース〉 / (毎月分配型)
〈中国元コース〉 / 〈インドネシアルピアコース〉 / 〈資源国バスケット通貨コース〉

(注)伊予銀行では、「円コース」「豪ドルコース」「ブラジルリアルコース」のみを取り扱っております。

追加型投信 / 国内 / 債券

〈マネープールファンド〉

めざすゴールへ。選べる通貨コース。



ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

 **伊予銀行**

商号等 株式会社 伊予銀行
登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号
加入協会 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会
当ファンドはインターネット専用ファンドです
投資信託説明書(交付目論見書)は
伊予銀行投資信託ホームページでご確認いただけます
<http://www.iyobank.co.jp/>

運用委託先は **PIMCO**


設定・運用は  **三菱UFJ投信**

三菱UFJ投信 オリジナルキャラクター ©kero

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会 (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

お客様専用 **0120-151034**
フリーダイヤル 受付時間 / 9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

 三菱UFJ投信オフィシャルサイト
<http://www.am.muam.jp/>

 三菱UFJ投信より基準価額・分配金をメール配信
<http://k.m-muam.jp/a/1/3>

※メール配信は設定日より開始します。
※メール配信対象外ファンドもあります。



ファンドの特色

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズは、以下の11本のファンドで構成される投資信託です。 (注)伊予銀行では、「円コース」「豪ドルコース」「ブラジルリアルコース」のみを取り扱っております。

- 円コース(毎月分配型)
- 米ドルコース(毎月分配型)
- ユーロコース(毎月分配型)
- 豪ドルコース(毎月分配型)
- ブラジルリアルコース(毎月分配型)
- 南アフリカランドコース(毎月分配型)
- トルコリラコース(毎月分配型)
- 中国元コース(毎月分配型)
- インドネシアルピアコース(毎月分配型)
- 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)
- マネープールファンド

〈マネープールファンド以外〉

1 主として米ドル建ての新興国債券^{※1}を実質的な主要投資対象とします。

- ・投資する債券は、原則として取得時においてCCC-格相当以上の格付けを有しているものに限り、米ドル建ての新興国債券に実質的な投資を行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

※1 新興国債券とは、経済が発展途上にあり、今後の急速な経済成長が期待できる国々の政府、政府機関等が発行もしくは信用保証する債券です。

2 為替変動リスクの異なる10通貨から通貨コースを選択いただけます。

- ・各コースにおいて、米ドル売り、各コースのヘッジ対象通貨買いの為替ヘッジ取引を行うことにより(米ドルコースを除く)、選択した通貨で実質的な運用を行います。

 円コース(毎月分配型)	 トルコリラコース(毎月分配型)
 米ドルコース(毎月分配型)	 中国元コース(毎月分配型)
 ユーロコース(毎月分配型)	 インドネシアルピアコース(毎月分配型)
 豪ドルコース(毎月分配型)	 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) (オーストラリア・ブラジル・南アフリカ共和国)
 ブラジルリアルコース(毎月分配型)	
 南アフリカランドコース(毎月分配型)	

※資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)においては、3通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド)への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつから乖離する場合があります。

3 運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

- ・ピムコ社(PIMCO=Pacific Investment Management Company LLC)は、1971年に米国で設立された債券運用に強みを持つ会社です。運用資産残高は、2011年9月末現在で約104兆円(1米ドル=77.08円で換算)です。ピムコジャパンリミテッドは、PIMCOグループの日本における拠点です。

4 原則として、毎月20日に分配を行います。

- ・原則として、毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

〈マネープールファンド〉

マネープールファンドは、主に日本の短期公社債等に投資します。

- 販売会社によっては、取り扱わないファンドがある場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。
- 各通貨コースおよびマネープールファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。なお、販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。
- マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各通貨コースからのスイッチングの場合に限り、

ファンドのポイント

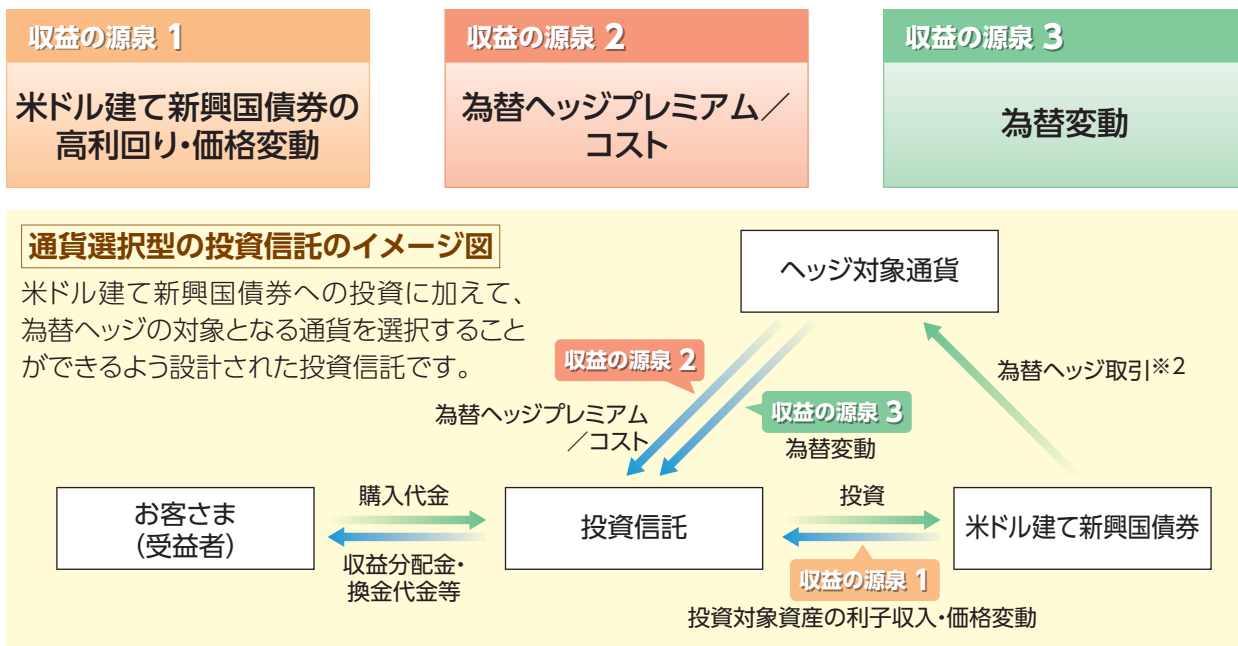
<マネープールファンドを除く>

ファンドでは **債券** と **通貨** への投資を行います。

米ドル建ての新興国債券に投資します。

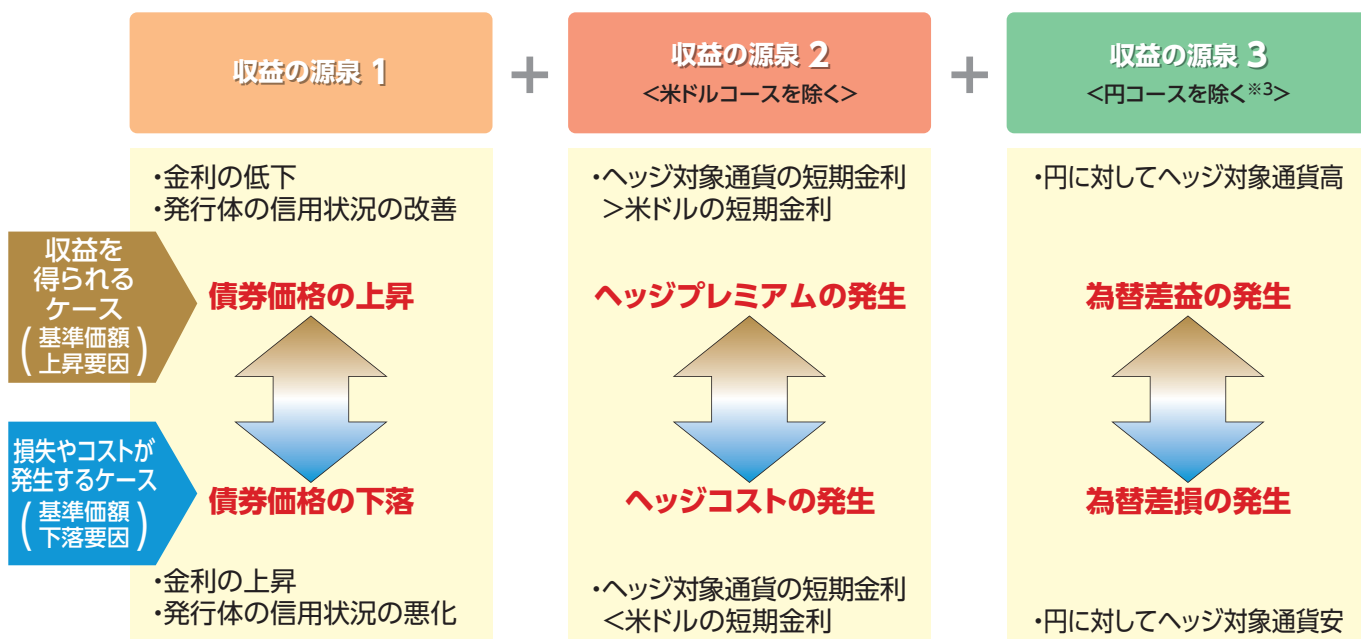
さらに通貨コースを選択いただけます。

収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



※2 米ドルコースでは、原則として為替ヘッジ取引を行いません。したがって米ドルの為替変動の影響を受けます。

収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。



※3 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

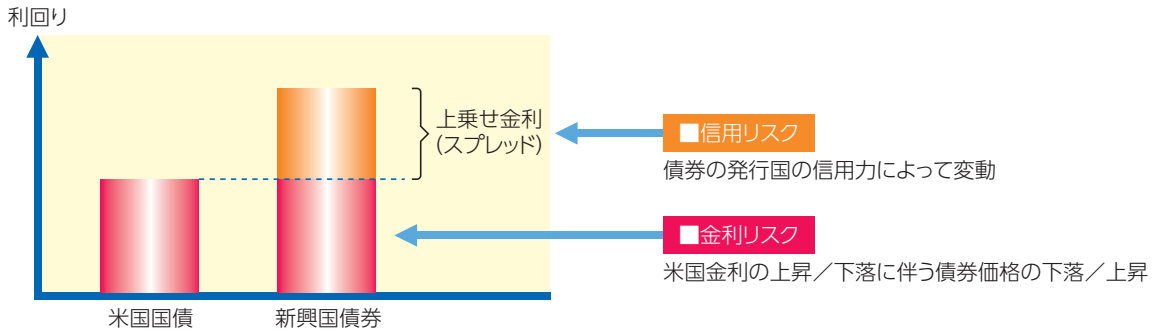
ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。

収益の源泉 1

米ドル建て新興国債券の 高利回り・価格変動

- ・米ドル建て新興国債券への投資による高い利子収入の獲得をめざします。
- ・新興国の高い経済成長を背景とした信用力改善に伴う債券価格上昇が見込まれます。

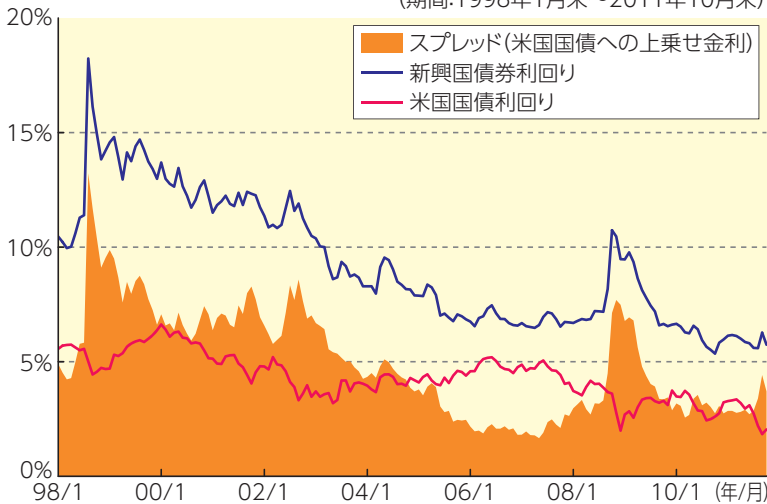
米ドル建て新興国債券と米国国債の利回り比較(イメージ図)



- ・上記はイメージであり、すべての債券が該当するとは限りません。また、リスクは上記に限定されません。
- ・上記は新興国債券と米国国債に関する解説の一部であり、新興国債券、米国国債について全てを網羅したものではありません。

米ドル建て新興国債券と米国国債の利回り推移

(期間:1998年1月末～2011年10月末)



新興国債券は信用リスクが高い分、米国国債よりも高い利回りで発行・取引されています。

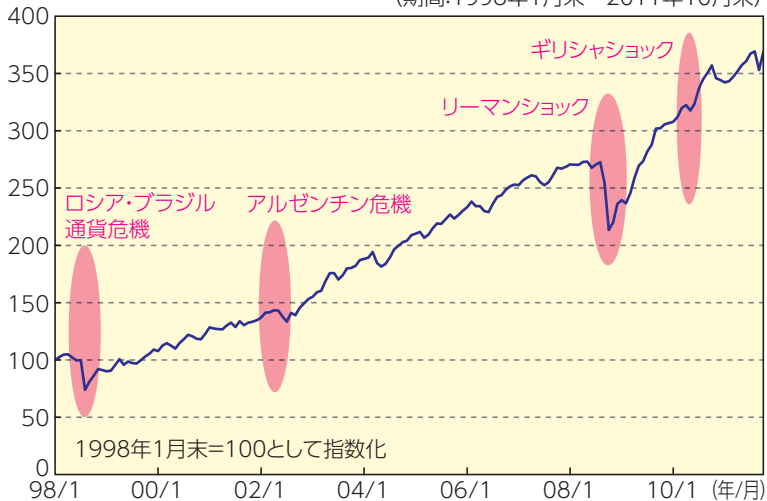
スプレッド: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドのスプレッド
 新興国債券利回り: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドの最終利回り
 米国国債利回り: 新興国債券の最終利回りからスプレッドを控除した利回り

米国国債の利回りは、新興国債券(JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド)のデュレーションに一致する指標がなかったため、新興国債券の利回りとスプレッドの差により求めております。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

米ドル建て新興国債券のパフォーマンス推移

(期間:1998年1月末～2011年10月末)



様々なイベントを経験しながらも、新興国債券市場のパフォーマンスは中長期的に上昇を続けています。

新興国債券のパフォーマンス:
 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
 (米ドルベース)

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドは、ファンドのベンチマークではなく、運用実績を示すものではありません。
- ・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

収益の源泉 2

為替ヘッジプレミアム／コスト

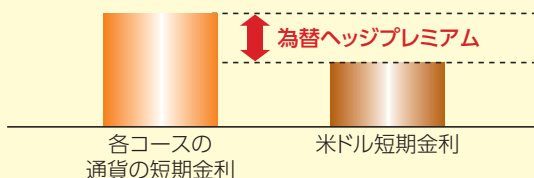
・選択したコースの通貨の金利が米ドルの金利よりも高い場合は、為替ヘッジプレミアムを獲得することができます。
(米ドルと対象通貨の金利環境が逆転した場合は、当該為替ヘッジによるコストが発生する場合があります。)

為替ヘッジプレミアム／コスト(イメージ図)

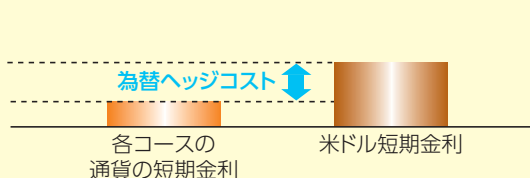
為替ヘッジプレミアム=(各コースの通貨の短期金利 - 米ドルの短期金利)がプラスとなる場合

為替ヘッジコスト=(各コースの通貨の短期金利 - 米ドルの短期金利)がマイナスとなる場合

[米ドルに比べて金利が高い通貨で為替ヘッジを行う場合]



[米ドルに比べて金利が低い通貨で為替ヘッジを行う場合]

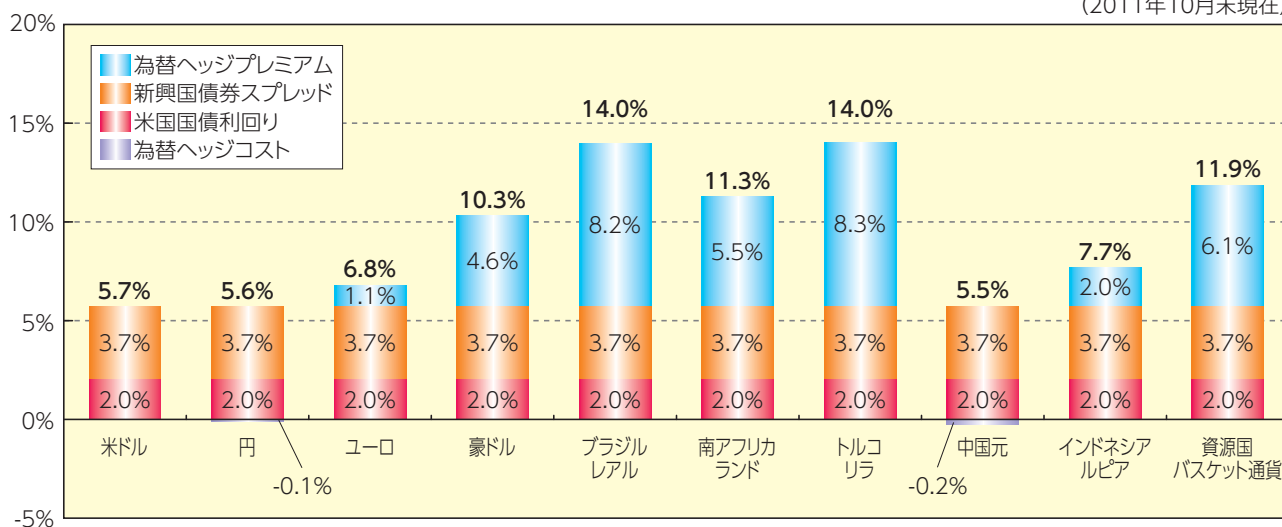


・米国の金利が為替ヘッジプレミアム／コストの基準になるのは、各通貨コースが投資をするケイマン籍・円建ての外国投資信託が、米ドル建て新興国債券に投資をする際に、その投資をした米ドルを他の通貨にヘッジする取引を行うためです。

米ドル建て新興国債券利回りと為替ヘッジプレミアム／コスト(シミュレーション)

2011年10月末現在では、円コース、中国元コース以外の通貨コースでは、米ドルより金利が高いため、新興国債券の利回りに為替ヘッジプレミアムが上乗せされ、より高い収益の獲得が期待できます。一方、円コースでは為替ヘッジコストがかかりますが、為替変動リスクの低減が期待できます。

(2011年10月末現在)



上記グラフが示すプレミアム、利回りはあくまでも一時点の断面です。

・為替ヘッジ取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
・NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行わず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引(デリバティブ取引)です。
・NDF取引では、市場の期待値(需給)や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、ヘッジプレミアム／コストは、理論上期待される短期金利差から大きくカイ離する場合があります。

新興国債券スプレッド：JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドのスプレッド

米国国債利回り：新興国債券の最終利回りからスプレッドを控除した利回り

為替ヘッジプレミアム／コスト：各通貨の短期金利を使用して三菱UFJ投信にて算出

(米ドル・円・ユーロ・豪ドルは1ヵ月LIBOR、ブラジルレアル・南アフリカランド・トルコリラ・中国元・インドネシアルピアはJPモルガンELMI+の利回り、資源国バスケット通貨は豪ドルの1ヵ月LIBORとブラジルレアル・南アフリカランドのJPモルガンELMI+の利回りを使用し、各通貨に3分の1程度ずつ投資したと仮定して計算しています。)

(出所) ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・上記グラフは指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については10ページをご覧ください。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
- ・上記は、理解を深めていただくためのシミュレーションであり、実際の運用成果とは異なります。
- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

収益の源泉 3

為替変動

・選択したコースの通貨が対円で上昇(円安)した場合は、為替差益を獲得することができます。
(対円で下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。)

各通貨コースの基準価額への影響(対象通貨の対円での為替変動)

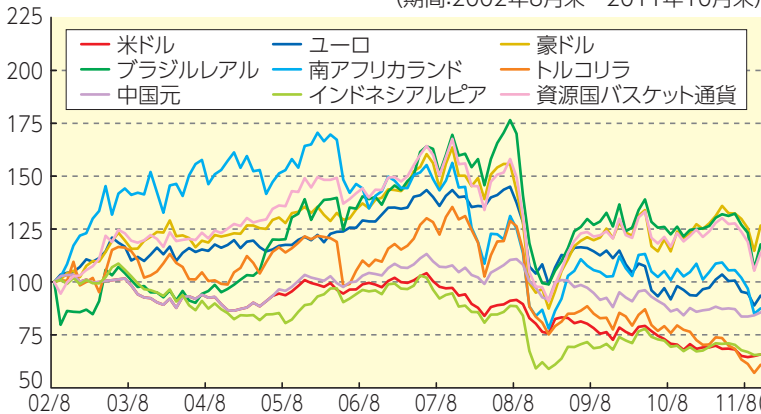
米ドルに対し各コースの対象通貨で為替ヘッジを行うため、基準価額は以下のような為替変動の影響を受けます。

コース名	下落 ← 基準価額 → 上昇						
 円コース(毎月分配型)	原則として、円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。						
 米ドルコース(毎月分配型)	米ドル安 ← 円に対して → 米ドル高						
 ユーロコース(毎月分配型)	ユーロ安 ← 円に対して → ユーロ高						
 豪ドルコース(毎月分配型)	豪ドル安 ← 円に対して → 豪ドル高						
 ブラジルリアルコース(毎月分配型)	ブラジルリアル安 ← 円に対して → ブラジルリアル高						
 南アフリカランドコース(毎月分配型)	南アフリカランド安 ← 円に対して → 南アフリカランド高						
 トルコリラコース(毎月分配型)	トルコリラ安 ← 円に対して → トルコリラ高						
 中国元コース(毎月分配型)	中国元安 ← 円に対して → 中国元高						
 インドネシアルピアコース(毎月分配型)	インドネシアルピア安 ← 円に対して → インドネシアルピア高						
 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) (オーストラリア・ブラジル・南アフリカ共和国)	<table border="1"> <tr> <td>資源国バスケット通貨</td> <td>← 円に対して →</td> <td>資源国バスケット通貨</td> </tr> <tr> <td>豪ドル安 ブラジルリアル安 南アフリカランド安</td> <td></td> <td>豪ドル高 ブラジルリアル高 南アフリカランド高</td> </tr> </table>	資源国バスケット通貨	← 円に対して →	資源国バスケット通貨	豪ドル安 ブラジルリアル安 南アフリカランド安		豪ドル高 ブラジルリアル高 南アフリカランド高
資源国バスケット通貨	← 円に対して →	資源国バスケット通貨					
豪ドル安 ブラジルリアル安 南アフリカランド安		豪ドル高 ブラジルリアル高 南アフリカランド高					

■各コース(円コース(毎月分配型)を除く)の基準価額は、為替相場が各コースの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。なお、円コース(毎月分配型)では、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

各通貨(為替レート(対円))の推移

(期間:2002年8月末~2011年10月末)



対象通貨は政治や経済情勢などの背景が異なることから、各通貨毎に動きが異なります。なお、世界的なイベントで同一方向に変動することや、各国の個別イベントで当該国のみ変動が大きくなる場合があります。

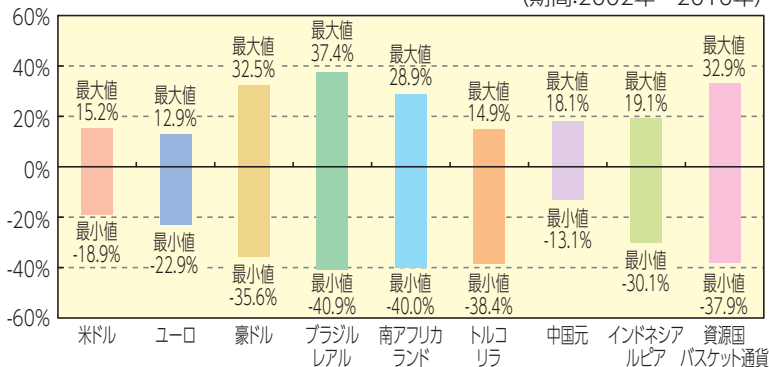
2002年8月末の対円為替レートを100として指数化しています。為替相場はWMロイターのレートを使用しています。

トルコは2005年1月1日に新トルコリラを発行し、事実上100万分の1のデノミネーション(呼称単位の切り下げ)を行いました。左図では、連続性を保つため調整を行っています。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

為替の年間変化率

(期間:2002年~2010年)



相対的に新興国の通貨は変化率が大きくなる傾向があります。したがって、新興国の通貨の為替変動は、先進国に比べ、基準価額に大きな影響を与える可能性があります。

為替の変化率は、暦年ベース(前年12月末~当年12月末)で年次変化率を算出し、その最大値、最小値を表示しています。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

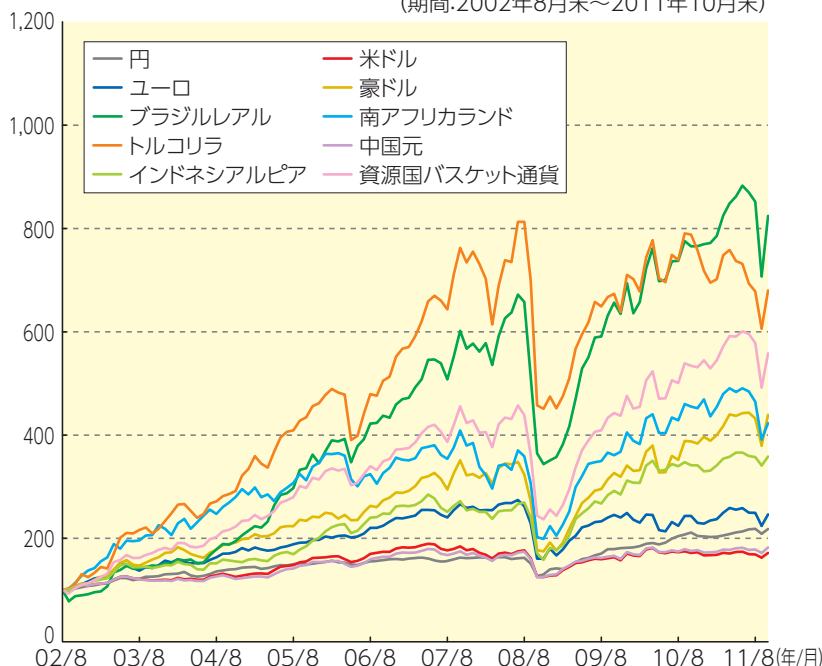
- ・資源国バスケット通貨は毎月リバランスを行い、豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドに3分の1程度ずつ投資したと仮定し、計算しています。
- ・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
- ・上記各見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(ご参考) 各通貨における試算

下記は、過去の市場指数、為替レートをもとに三菱UFJ投信が行った試算結果であり、各通貨コースにおける運用実績ではありませんのでご注意ください。

各通貨でヘッジした場合の米ドル建て新興国債券インデックスの推移(円換算ベース)

(期間:2002年8月末~2011年10月末)



左記期間での試算においては、各通貨とも2008年半ばまで上昇基調にありましたが、それ以降は世界的な金融不安によるリスク回避の動き等から大きく下落しました。

2008年半ば以降の大幅下落の要因として、以下が考えられます。

- ①世界的な景気後退による新興国経済に対する懸念の高まり等から新興国債券の利回りが上昇(債券価格は下落)したこと
 - ②各コースの通貨が対円で下落したこと等
- 2009年に入り、主要国の経済対策等により世界経済が落ち着きを見せると、リスク回避の動きも緩和され、試算値も上昇しています。なお足元、欧州債務問題への懸念等から、投資家のリスク回避姿勢が強まり、試算値の変動が大きくなっています。

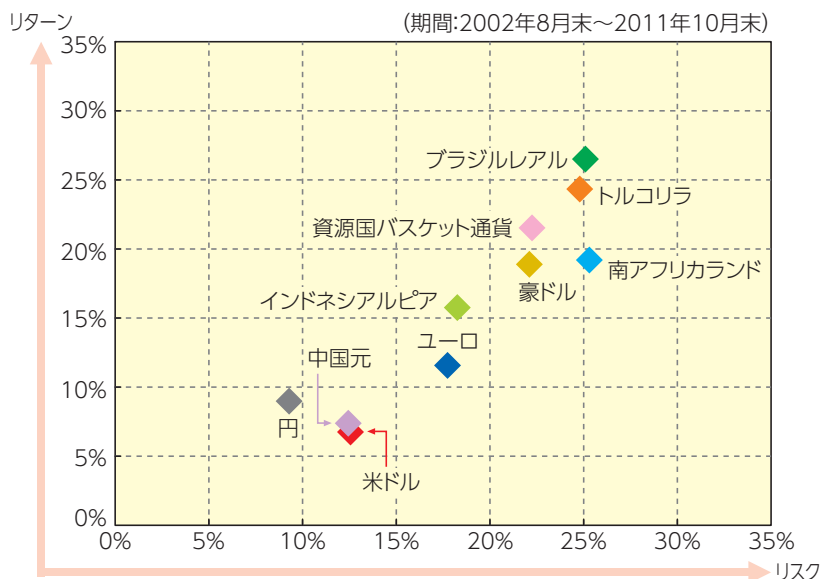
トルコの短期金利が取得可能な2002年8月末を100として指数化しています。為替相場はWMロイターのレートを使用しています。上記は以下の指数等を用いてファンドの価格の変動要因となる①米ドル建て新興国債券インデックス、②為替ヘッジプレミアム/コスト、③対円での為替差損益の各月次リターンを乗じて計算したものです。

米ドル建て新興国債券インデックス：JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
 為替ヘッジプレミアム/コスト：各通貨の短期金利を使用して三菱UFJ投信にて算出
 (米ドル・円・ユーロ・豪ドルは1ヵ月LIBOR、ブラジルレアル・南アフリカランド・トルコリラ・中国元・インドネシアルピアはJPモルガンELMI+の利回り、資源国バスケット通貨は豪ドルの1ヵ月LIBORとブラジルレアル・南アフリカランドのJPモルガンELMI+の利回りを使用し、毎月リバランスを行い、各通貨に3分の1程度ずつ投資したと仮定して計算しています。)

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

各通貨でヘッジした場合の米ドル建て新興国債券インデックスのリターンとリスク(円換算ベース)

(期間:2002年8月末~2011年10月末)



左記期間の試算においては、新興国の通貨でヘッジした場合ほど、リスク・リターンともに高くなる傾向にありました。

資源国バスケット通貨コースでは、比較的高い収益を享受しつつ、通貨分散により為替変動リスクが低減されています。

リターンは月次変化率の平均を、リスクは月次変化率の標準偏差をそれぞれ年率換算することにより計算しています。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・ファンドは市場指数に投資するものではありません。
- ・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
- ・上記各見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

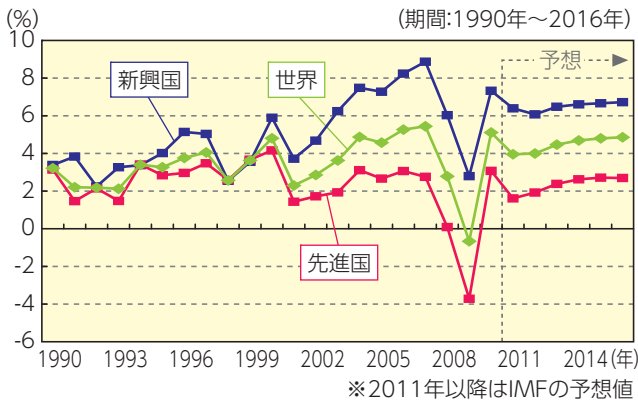
(ご参考) 新興国の市場環境 ～新興国経済の変化

<実質的な投資対象となる新興経済国>



* 新興経済国とは、経済が発展途上であり、今後の急速な経済成長が期待できる国々をいいます。上記以外の国を投資対象国とすることがあります。

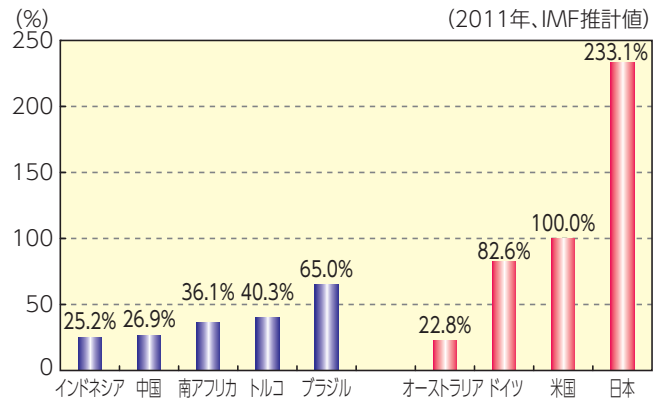
実質GDP成長率



新興国のファンダメンタルズの改善から、新興国では景気拡大が継続する見込みです。

(出所)IMF「ワールド エコノミック アウトルック(2011年9月)」のデータより三菱UFJ投信作成

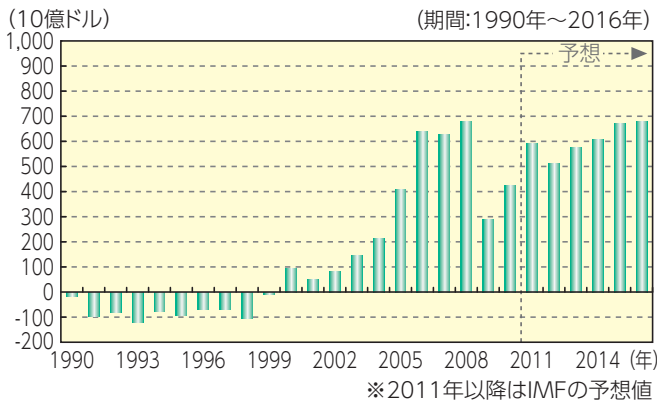
各国の政府債務(対名目GDP比)



先進国では財政悪化が懸念される一方、新興国では政府の債務比率は低位にあります。

(出所)IMF「ワールド エコノミック アウトルック(2011年9月)」のデータより三菱UFJ投信作成

経常収支



資源価格の上昇や経済の高度成長などを背景に新興諸国の経常黒字は増加する見込みです。

・上記グラフにおける新興諸国とはIMFが定義した国々であり、ファンドの実際の投資対象国とは異なります。

(出所)IMF「ワールド エコノミック アウトルック(2011年9月)」のデータより三菱UFJ投信作成

信用格付けの変化

国・地域	通貨	2002年8月末		2011年10月末
南アフリカ	ランド	A-	↑	A
中国	元	BBB	↑	AA-
ブラジル	レアル	BB	↑	BBB+
インドネシア	ルピア	B-	↑	BB+
トルコ	リラ	B-	↑	BBB-
(ご参考)				
米国	米ドル	AAA	↓	AA+
ユーロ	ユーロ	AAA	→	AAA
オーストラリア	豪ドル	AAA	→	AAA
日本	円	AA-	→	AA-

新興国では経済発展に伴い、多くの国で信用力の改善が見られます。

格付けは、スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)の国債の自国通貨建長期信用格付けです。ユーロの格付けは、ドイツの格付けを使用。なお、上記はS&Pの信用格付けであり、他の信用格付け会社の信用格付けは上記と異なる場合があります。今後、政治経済環境により格付けは変更されることがあります。

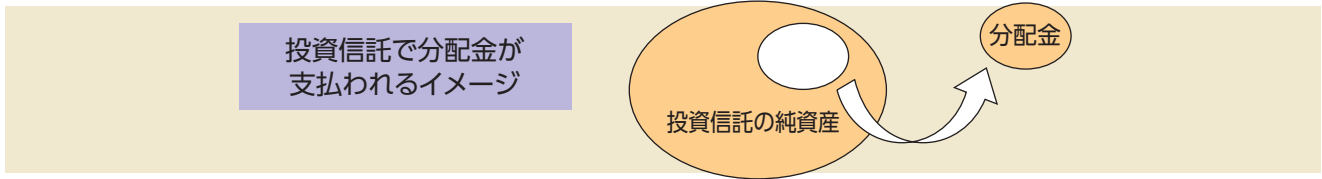
(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

・上記各見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

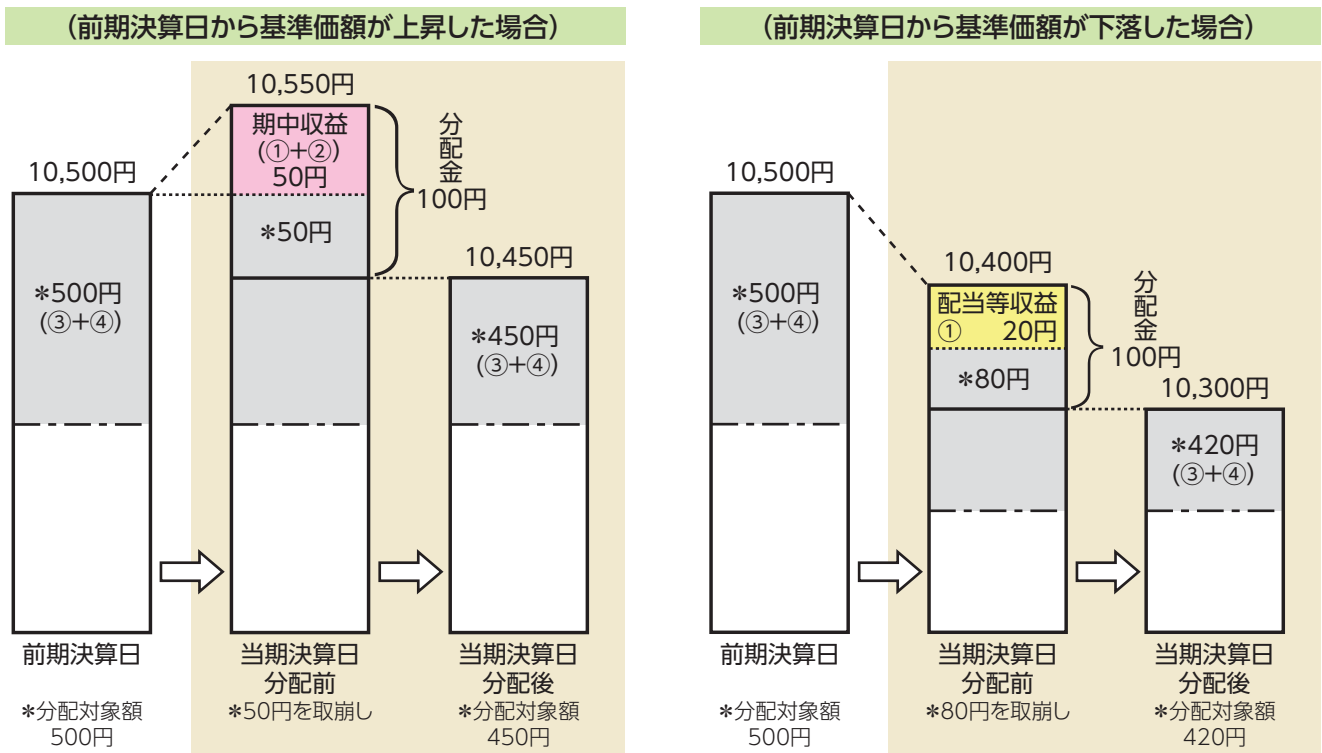
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)



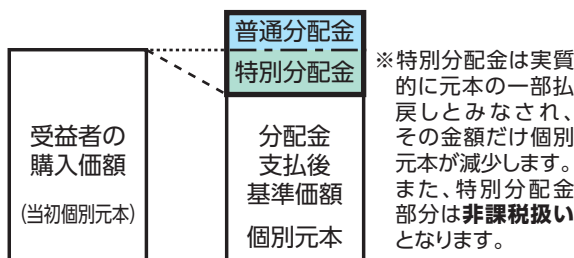
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

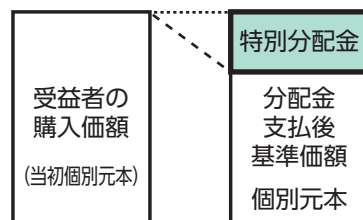
収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

特別分配金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、特別分配金の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

投資リスク

各ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

〈各ファンド(マネープールファンドを除く)〉



〈マネープールファンド〉



市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

〈円コース〉

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

〈米ドルコース〉

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

〈ユーロコース／豪ドルコース／ブラジルリアルコース／南アフリカランドコース／トルコリラコース／中国元コース／インドネシアルピアコース〉

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

〈資源国バスケット通貨コース〉

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替ヘッジを行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

〈その他の留意点〉

〈各ファンド(マネープールファンドを除く)〉

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

〈マネープールファンド〉

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

〈リスクの管理体制〉

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

当資料に関するご注意事項

- 当資料は、三菱UFJ投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

投資信託に関するご留意事項

- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。

〈当資料で使用した指数について〉

■JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数としてJPモルガンEMBIグローバルがあります。各指数は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

■JPモルガンELMI+

JPモルガンELMI+とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。当指数は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

※伊予銀行でお申込みの場合

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。伊予銀行では、「円コース」「豪ドルコース」「ブラジルリアルコース」のみを取り扱っております。

お申込みメモ

購 入	購入単位 分配金受取りコース(一般コース):1万円以上1円単位 購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。
	購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限りです。 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。
	購入代金 販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換 金	換金単位 販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。
	換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
	換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
締 切	申込締切時間 原則として、午後3時までに販売会社を受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
	申込不可日 〈各ファンド(マネープールファンドを除く)〉 ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。
制 限 等	換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
	信託期間 2019年4月20日まで 〈各ファンド(中国元コース/インドネシアルピアコース/資源国バスケット通貨コースを除く)〉(2009年4月28日設定) 〈中国元コース/インドネシアルピアコース〉(2010年5月6日設定) 〈資源国バスケット通貨コース〉(2011年1月20日設定)
信 託 期 間	繰上償還 各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
	決算日 〈各ファンド(マネープールファンドを除く)〉 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) 〈マネープールファンド〉 毎年4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日)
決 算 ・ 分 配	収益分配 〈各ファンド(マネープールファンドを除く)〉 毎月の決算時に分配を行います。 〈マネープールファンド〉 年2回の決算時に分配を行います。
	課税関係 課税上、株式投資信託として取り扱われます。

ファンドの費用・税金

お客さまが直接的に負担する費用

購入時	〈各ファンド(マネープールファンドを除く)〉 購入価額× 3.15%(税抜 3%)
購入時手数料	〈マネープールファンド〉 ありません。
換金時	
信託財産留保額	ありません。

保有期間中

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	〈各ファンド(マネープールファンドを除く)〉 純資産総額× 年1.596%(税抜 年1.52%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりません。 〈マネープールファンド〉 純資産総額× 年0.5775%~年0.0105%(税抜 年0.55%~年0.01%) ※ ※無担保コール翌日物レートの水準に応じて、適用される率が異なります。 くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただけます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

- 運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます)は、その都度信託財産から支払われます。
- 購入時手数料(マネープールファンドを除く)、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。
- お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)
三菱UFJ投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)
三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)
表紙に記載の三菱UFJ投信の照会先で
ご確認ください。